

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社

コード番号 2784 URL <https://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒川 隆治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画部長 (氏名) 佐々木 卓 (TEL) 03-5219-5102

定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 2025年6月3日

有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	2,961,051	3.6	38,080	△1.0	40,485	1.2	27,389	△7.3
2024年3月期	2,858,500	6.0	38,460	27.6	39,997	21.8	29,558	14.6

(注) 包括利益 2025年3月期 25,387百万円(△34.9%) 2024年3月期 38,979百万円(41.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	147.54	—	5.7	2.8	1.3
2024年3月期	154.13	—	6.1	2.9	1.3

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	1,439,885	482,247	33.5	2,650.27
2024年3月期	1,447,625	479,859	33.1	2,566.50

(参考) 自己資本 2025年3月期 481,788百万円 2024年3月期 479,599百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	5,639	△24,917	△23,534	174,813
2024年3月期	86,379	△14,217	△19,698	212,315

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	34.00	—	36.00	70.00	13,115	45.4	2.8
2025年3月期	—	31.00	—	32.00	63.00	11,637	42.7	2.4
2026年3月期(予想)	—	34.00	—	34.00	68.00		49.4	

(注) 2024年3月期における第2四半期末配当金および期末配当金には、それぞれ記念配当が5円含まれております。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,531,800	5.2	14,000	△6.6	15,300	△6.0	9,100	△35.3	50.06
通期	3,107,000	4.9	37,100	△2.6	39,700	△1.9	25,000	△8.7	137.52

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	191,300,000株	2024年3月期	202,840,000株
2025年3月期	9,511,326株	2024年3月期	15,971,131株
2025年3月期	185,637,050株	2024年3月期	191,777,990株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員報酬B I P信託口が保有する当社株式を含めております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	20,481	18.7	18,023	22.0	17,970	26.4	18,376	38.2
2024年3月期	17,252	△22.2	14,772	△26.6	14,215	△30.1	13,294	△34.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	98.99	—
2024年3月期	69.32	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	272,836	219,025	80.3	1,204.83
2024年3月期	266,910	223,406	83.7	1,195.52

(参考) 自己資本 2025年3月期 219,025百万円 2024年3月期 223,406百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料6ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	6
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
3. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益及び包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(会計方針の変更)	16
(セグメント情報)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年4月1日～2025年3月31日)におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの緩やかに回復している一方で、物価上昇の継続や通商政策など米国の政策動向による影響などが景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループでは、当期を最終年度とする3か年の中期経営計画「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～(以下「22-24中計」という。)」に掲げた以下のグループ経営方針に取り組んでまいりました。

- ・『事業モデルの強化』と『新たな価値の創造』
- ・『グループ一体となった取り組み』による地域の健康・医療への貢献
- ・『環境保全への取り組み等』を通じたサステナブル社会への貢献
- ・『ダイバーシティ』を中心とした人財戦略の推進
- ・『コンプライアンス』を最重要とする企業風土の醸成

また、2023年5月に発表した2032年度までの中長期的な事業戦略および財務・資本戦略「アルフレッサグループ中長期ビジョン」に掲げた目標達成に向け取り組んでおります。

当連結会計年度における当社の主な『新たな価値の創造』への取り組みは以下のとおりであります。

2024年4月、非連結子会社のセルリソーシズ株式会社(本社：東京都千代田区)は、国立研究開発法人国立成育医療研究センターと、商用利用可能なヒト(同種)体性幹細胞原料^{*1}の供給に関する契約を締結いたしました。同社は、国産の細胞原材料の安定供給に向けて体制の構築を進めており、高品質な細胞原材料の製造を進めるとともに細胞治療の産業化に貢献してまいります。

2024年5月、森久保CAメディカル株式会社(本社：神奈川県厚木市)とより強固な関係を構築するため資本提携契約を締結いたしました。なお、当社および連結子会社のアルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区、以下「アルフレッサ」という。)は、2022年11月に動物医療市場への進出に向け同社と業務提携契約を締結し、小動物医療の領域における共同での事業展開について検討を進めてまいりました。

2024年7月、当社が2023年12月に発行したソーシャルボンドにより資金調達し、群馬県太田市に新設予定である連結子会社のアルフレッサ ファーマ株式会社(本社：大阪府中央区、以下「アルフレッサ ファーマ」という。)群馬工場について建設工事を開始いたしました。工場内に3つの製造棟を建設し、当社グループのトータルサプライチェーンにおける製造機能の強化と拡大を図ります。低分子医薬品の製造能力の増強、高薬理活性製剤の受託製造および無菌製剤の検査・包装・試験受託への本格参入に向けた体制を整備いたします。

2024年9月、株式会社インテージヘルスケア(本社：東京都千代田区)との間で、当社が行うCRO・PMS^{*2}事業に係る会社分割(新設分割)により設立された新会社であるArkMS株式会社(本社：東京都豊島区)の全株式を取得いたしました。当社グループのトータルサプライチェーンにおける臨床開発、承認申請およびPMSの機能強化に大きく貢献するものと考えております。

2024年12月、当社および連結子会社の四国アルフレッサ株式会社(本社：香川県高松市)は、高知大学発のベンチャー企業でがんの放射線治療効果を高める放射線増感剤の開発を行うKORTUC INC. (本社：アメリカ合衆国)が発行する転換社債引受契約を締結するとともに、当社は同社と業務提携契約を締結いたしました。あわせて、当社は、希少疾患をはじめ治療選択肢の限られた疾患領域に特化した創薬ベンチャー企業である株式会社ジェクスヴァル(本社：神奈川県藤沢市)との間で、資本提携契約および業務提携に関する基本合意書を締結いたしました。いずれもアルフレッサ ファーマとのシナジー効果が期待され、日本国内における販売および流通に関する事業展開を目指してまいります。

また、2024年11月、資本効率の改善と株主還元の充実を図るため自己株式取得を決議し、2025年2月をもって5,113千株・109億99百万円の取得を終了いたしました。さらに、同年3月には11,540千株の自己株式消却を実施いたしました。

当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高2兆9,610億51百万円(前期比3.6%増)、営業利益380億80百万円(同1.0%減)、経常利益404億85百万円(同1.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益273億89百万円(同7.3%減)となりました。

- ※1 ヒト(同種)体性幹細胞原料 : 再生医療等製品の原料として利用可能なヒト(同種)細胞または組織
- ※2 CRO(Contract Research Organization) : 製薬企業や研究機関が行う臨床試験に関する一連の業務を支援する専門機関
- PMS(Post Marketing Surveillance) : 医薬品や医療機器が販売された後に行われる品質、有効性および安全性の確保を図るための調査

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等卸売事業におきましては、スペシャリティ領域ならびにメディカル品へのリソース集中とDXによる事業変革を図るべく、「22-24中計」の重点施策として掲げた「既存事業の強化」「事業変革による収益化」「グループ全体での最適化・効率化・標準化」に取り組んでまいりました。

医薬品の供給不安が社会問題化するなか、社会インフラとしての使命を果たすべく流通改善ガイドラインを遵守し安定供給に努めてまいりました。

当連結会計年度における同事業の中核会社であるアルフレッサの主な取り組みは以下のとおりであります。

2024年6月、株式会社ヘリオス(本社：東京都千代田区)との間で、同社の取扱製品に関する業務提携基本契約および同社が発行する普通社債引受契約を締結いたしました。「再生医療サプライチェーン」の機能強化、取扱製品の拡充を推進し、両社の事業拡大を目指してまいります。

2024年9月、株式会社セールスフォース・ジャパン(本社：東京都千代田区)が提供する製品を導入し、接種希望者と医療機関の利便性向上および需要量に応じたワクチン供給を実現する「ワクチン供給最適化プラットフォーム(サービス名：ワクチンぷらっと)」を構築いたしました。この普及により、医療機関における予約管理の負担軽減や、接種希望者の利便性向上および接種希望者へのワクチン接種機会の提供につなげ、予防医療に貢献してまいります。

2024年11月、便失禁・尿失禁を対象とした再生医療等製品の開発を推進するイノバセル株式会社(本社：東京都品川区)との間で資本業務提携契約を締結いたしました。同社の研究開発および製品上市後の日本国内における流通体制の構築をサポートするとともに、当社グループの「再生医療サプライチェーン」の機能強化および取扱製品の拡充を引き続き推進してまいります。

2024年12月、アルフレッサと当社の完全子会社の株式会社宮崎温仙堂商店(本社：長崎県諫早市)は、アルフレッサを存続会社とする吸収合併に基本合意いたしました。両社の経営資源を有効かつ効率的に活用し、地域に密着した営業基盤の強化を図ることで、九州の地域医療へのさらなる貢献を目指してまいります。

2024年12月、ヤマトホールディングス株式会社(本社：東京都中央区)とともに、自動車運送事業者の従業員の健康管理と重症化予防に向けて、新たに株式会社MY MEDICA(本社：横浜市中区)を設立し、2025年2月からサービスの提供を開始いたしました。同サービスのオンライン医療を活用しながら医療アクセスの向上に取り組んでまいります。

2025年1月、デジタルツインの生成、デジタルツインを活用したソリューションおよび産業用ロボティクス向けソフトウェアの開発と販売を行うアセントロボティクス株式会社(本社：東京都渋谷区)との間で資本業務提携契約を締結いたしました。デジタルツイン技術を用いた新たなアプローチにより、医療分野における業務効率化や医療の質向上などを目指し、同社との協業を進めてまいります。

2025年2月、品質マネジメントシステムに関する国際規格「ISO9001」の認証をロジスティクス本部ロジスティクス業務部および3か所の物流センターにおいて取得いたしました。引き続きグループ全体でISO認証取得の取り組みを進め、お客様・お取引先の満足度の向上に取り組んでまいります。

当セグメントの当連結会計年度の業績は、市場の伸長、なかでも特許品・新薬創出加算品等の販売増加および売上総利益率改善への取り組みの一方で、2024年4月に実施された薬価改定によるマイナス影響や仕入価格の上昇、人件費、物流費および減価償却費等のコスト増により、売上高2兆6,400億48百万円(前期比3.9%増)、営業利益330億55百万円(同0.1%減)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高189億85百万円(同5.3%増)を含んでおります。

② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、連結子会社のアルフレッサ ヘルスケア株式会社(本社：東京都中央区、以下「アルフレッサ ヘルスケア」という。)が、既存領域の高収益化と成長領域への挑戦を推進し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「高収益化への取り組み」「グループ連携強化」「事業変革による収益力強化」に取り組んでまいりました。

2025年2月、アルフレッサ ヘルスケアは九州における物流体制の最適化を図るため、熊本市南区から熊本県御船町に九州物流センターを移転・稼働いたしました。同センターは九州全域に商品供給を行う中核物流センターであり、3次元ロボットピッキングシステムの導入により業務負担の軽減、労働環境改善および業務効率化を実現し、正確・迅速かつ安全な商品供給体制を強化してまいります。

また、2025年3月、アルフレッサ ヘルスケアはヘルスケア領域に特化した販促・マーケティング支援やセルフメディケーション推進ツールを提供するウィルベース株式会社(本社：東京都中央区)との間で資本業務提携契約を締結いたしました。同社が提供する各種サービスの普及拡大を推進するとともに、同社が保有する豊富なデータを活用した市場予測、新商品の企画および販促の最適化等を行い、データドリブン経営の強化を図ってまいります。

当セグメントの当連結会計年度の業績は、市場環境の変化に伴う競争の激化による減収や物流費を含む人件費等のコスト増があったものの、インバウンド需要回復による安定した市場成長、適正価格での販売への取り組みおよび販管費抑制等により、売上高2,657億48百万円(前期比1.1%増)、営業利益29億50百万円(同10.0%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高4億73百万円(同5.0%減)を含んでおります。

③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、「次代の基盤創り」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「安心・安全・誠実なモノづくり」「トータルサプライチェーンサービスの実現に向けた取り組み」「デジタルを活用した新たな取り組み」を推進してまいりました。

2024年11月、アルフレッサ ファーマは、アドレナリン点鼻液の開発を行うARS Pharmaceuticals Operations, Inc.(本社：アメリカ合衆国)と日本国内での開発および販売におけるライセンス契約を締結し、開発を進めてきた蜂毒、食物および薬物等に起因するアナフィラキシーに対する補助治療剤であるアドレナリン(一般名)点鼻液[※]の製造販売承認申請を行いました。アナフィラキシー補助治療剤として投与が簡便で患者様や介護者等の負担軽減が期待できるアドレナリン点鼻液を新たな選択肢として提供することで、アンメット・メディカル・ニーズに貢献してまいります。

当セグメントの当連結会計年度の業績は、原薬および受託製造ならびに医療機器の売上伸長に加えて販管費抑制に取り組んだものの、薬価改定および製造原価上昇等によるマイナス影響等により、売上高540億65百万円(前期比2.5%増)、営業利益12億94百万円(同31.6%減)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高163億75百万円(同8.1%増)を含んでおります。

※ 現在、国内のアドレナリンの医薬品はアドレナリン注射液自己注射キット製剤およびアドレナリン注射液がある。

④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、調剤薬局事業を運営する連結子会社のアボクリート株式会社(本社：東京都豊島区)が、予防からターミナルケアまでライフジャーニーにおけるすべてのステージに対応する「かかりつけ薬局」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「在宅医療への取り組みによる事業の成長」「DXによる事業変革」「未病予防への取り組み」を推進してまいりました。

当セグメントの当連結会計年度の業績は、市場伸長の影響により増収であった一方で、販管費抑制に取り組んだものの薬価改定によるマイナス影響、仕入原価上昇および租税公課(控除対象外消費税)増加等の影響により、売上高370億23百万円(前期比1.0%増)、営業利益5億96百万円(同16.3%減)となりました。

2025年3月期を最終年度とする中期経営計画「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～」で発表した経営指標目標の達成状況については以下のとおりであります。

2025年3月期	売上高 (連結)	営業利益率 (連結)	投資計画 (連結<3年間累計>)	株主還元
22-24中期経営計画目標	2兆7,000億円	1.5%以上	1,200億円	DOE 2.4%以上
当期実績	2兆9,610億円	1.3%	960億円	DOE 2.4%

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における当社グループの総資産は、前期末比77億40百万円減少し、1兆4,398億85百万円となりました。

流動資産は、267億36百万円減少し、1兆944億96百万円となりました。これは主として、「商品及び製品」が101億27百万円増加した一方で、「現金及び預金」が366億71百万円減少および「未収入金」が28億6百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、189億95百万円増加し、3,453億88百万円となりました。これは主として、物流センター等の設備投資などに伴い有形固定資産が108億34百万円増加、「投資有価証券」が96億87百万円増加および「繰延税金資産」が33億27百万円増加した一方で、製造販売権等の減損損失計上に伴い無形固定資産が51億8百万円減少したことによるものであります。

セグメント別の総資産は、以下のとおりであります。

医療用医薬品等卸売事業のセグメント資産は、前期末比20億円減少し、1兆2,380億91百万円となりました。これは主として、「現金及び預金」等の流動資産が減少した一方で、ベンチャー企業への出資等に伴い「投資有価証券」が増加したことによるものであります。

セルフメディケーション卸売事業のセグメント資産は、9億37百万円減少し、930億29百万円となりました。これは主として、棚卸資産等の流動資産が減少したことによるものであります。

医薬品等製造事業のセグメント資産は、56億38百万円増加し、730億7百万円となりました。これは主として、製造販売権等の減損損失計上に伴い無形固定資産が減少した一方で、医薬品製造棟等の設備投資に伴い有形固定資産が増加したことによるものであります。

医療関連事業のセグメント資産は、3億3百万円減少し、165億円となりました。これは主として、設備投資等に伴い固定資産が増加した一方で、「現金及び預金」等の流動資産が減少したことによるものであります。

当連結会計年度末における当社グループの負債は、前期末比101億29百万円減少し、9,576億37百万円となりました。

流動負債は、120億28百万円減少し、8,949億61百万円となりました。これは主として、「支払手形及び買掛金」が204億3百万円減少した一方で、未払金等の「その他」が86億72百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、18億98百万円増加し、626億75百万円となりました。これは主として、「繰延税金負債」が19億91百万円増加したことによるものであります。

結果として、当連結会計年度末における当社グループの純資産は、23億88百万円増加し、4,822億47百万円となりました。これは主として、「利益剰余金」が151億43百万円増加および自己株式の取得・消却により「自己株式」が150億43百万円減少した一方で、自己株式の消却により「資本剰余金」が259億70百万円減少、保有株式の売却に伴い「其他有価証券評価差額金」が11億49百万円減少および「退職給付に係る調整累計額」が10億33百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における当社グループの現金及び現金同等物は、前期末比375億2百万円減少し、1,748億13百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、「税金等調整前当期純利益」が393億59百万円と前期と比べ44億35百万円の減益となったことに加えて、運転資本増減の影響等により、56億39百万円の増加(前期は863億79百万円の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、物流センターの建設等の設備投資に伴う支出が増加した一方で、保有株式の縮減を目的とした投資有価証券の売却による収入が増加したこと等により、249億17百万円の減少(前期は142億17百万円の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、株主還元の一環としての「自己株式の取得による支出」が減少したことに加えて、前期は「社債の発行による収入」および「長期借入れによる収入」があったこと等の影響により、235億34百万円の減少(前期は196億98百万円の減少)となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループは、2028年3月期を最終年度とする「25-27 中期経営計画 Vision2032 Stage2 ～総合力で未来を切り拓く～」を策定いたしました。少子高齢化・労働人口減少、物流費・人件費やエネルギー価格の高騰、医薬品の供給不安、テクノロジーの進化といった社会課題や当社グループを取り巻く経営環境の変化に対応し、当社グループが目指す2032年度までの中長期的な事業戦略および財務・資本戦略「アルフレッサグループ中長期ビジョン」に掲げた目標達成に向け、グループ経営方針「T S C S^{*1}進化拡大のためのグループ総合力発揮」「成長事業・新規事業への戦略的投資」「基盤事業のさらなる競争力強化」「コストコントロールの徹底」「サステナビリティ経営の推進」に取り組んでまいります。

また、セグメント別の取り組みについては以下のとおりであります。

医療用医薬品等卸売事業におきましては、T S C S 実現に向けた事業機会の拡大を目指して取り組んでまいります。重点施策として、「MS力の最大化」「全国ネットワークの強化」「ソリューション事業の推進による収益基盤の構築」「ステークホルダーが求めるロジスティクス体制構築」「グループ一体となった人的資本の戦略強化」を進めてまいります。

セルフメディケーション卸売事業におきましては、『健康』× つなぐ × しあわせ をテーマに取り組んでまいります。重点施策として、「ドラッグストア業界再編への対応」「外部環境の変動に強い販売戦略の展開」「自社主体的な新たなソリューションの展開」を進めてまいります。

医薬品等製造事業におきましては、事業ポートフォリオの再構築による安定的な経営基盤の確立に取り組んでまいります。重点施策として、「利益率・効率性のさらなる向上」「受託製造拡大と製品パイプライン拡充」「API(原薬)製造部門の新規事業開発」を進めてまいります。

調剤薬局等事業(医療関連事業から改称)におきましては、地域に求められる『かかりつけ薬局』を目指すをテーマに取り組んでまいります。重点施策として、「对患者様業務の充実・処方箋確保」「門前医療機関以外からの処方箋獲得強化」「新たな薬局機能の拡充」「介護事業への参入」を進めてまいります。

その他事業(再生医療関連事業：新規連結対象)におきましては、コア事業であるマスターセルの製造と保管、CMO・CDMO^{*2}事業の事業開発を重点的に進め、各案件を早期にローンチすることに取り組んでまいります。

2026年3月期の連結業績見通しにつきましては、市場伸長による増収が見込まれる一方で、2025年4月の薬価改定に加えて、新規連結対象の再生医療関連事業に係る基盤整備等への開発投資増やベースアップ等の人的資本への投資によるコスト増等により、売上高3兆1,070億円(当期比4.9%増)、営業利益371億円(同2.6%減)、経常利益397億円(同1.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益250億円(同8.7%減)を見込んでおります。

※1 T S C S (トータルサプライチェーンサービス) : グループ全体で保有する様々な機能を有機的に一体活用することで、シームレスなサプライチェーンを確立し、医薬品等の導入・開発、製造から物流・販売、市販後調査・ラストワンマイルまでをグループ一体となって提供すること。

※2 CMO(Contract Manufacturing Organization) : 製薬企業などからの医薬品製造の受託・代行

CDMO(Contract Development and Manufacturing : 医薬品の製造工程の開発から、治験薬や商用生産までを受託するサービス Organization)

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、主として日本国内において医療用医薬品、検査試薬、医療機器・材料・用具、一般用医薬品の卸販売に係る事業の運営、これらの製造販売に係る事業の運営および調剤薬局事業の運営を行っております。現時点では海外での事業展開は限定的であるため、会計基準については日本基準を採用しております。今後、財務情報の国際的な比較可能性を求める資本市場の要請や、外国人株主比率の推移、さらには他社財務情報との比較容易性等を総合的に勘案して、国際財務報告基準(I F R S)の適用の可否を判断することにしております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	213,756	177,085
受取手形	13,790	11,801
売掛金	632,323	633,977
商品及び製品	147,159	157,286
仕掛品	1,843	2,071
原材料及び貯蔵品	7,375	8,312
未収入金	87,175	84,368
その他	18,145	19,925
貸倒引当金	△335	△331
流動資産合計	1,121,233	1,094,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	144,816	144,999
減価償却累計額	△65,735	△68,670
建物及び構築物（純額）	79,081	76,328
機械装置及び運搬具	41,084	50,458
減価償却累計額	△27,244	△30,109
機械装置及び運搬具（純額）	13,840	20,348
工具、器具及び備品	16,240	17,265
減価償却累計額	△12,006	△12,211
工具、器具及び備品（純額）	4,234	5,053
土地	72,239	70,908
リース資産	7,603	6,330
減価償却累計額	△3,696	△3,035
リース資産（純額）	3,907	3,294
建設仮勘定	8,298	16,501
有形固定資産合計	181,601	192,436
無形固定資産		
のれん	2,065	1,402
リース資産	13	0
その他	14,494	10,061
無形固定資産合計	16,572	11,464
投資その他の資産		
投資有価証券	105,627	115,315
長期貸付金	2,034	2,089
繰延税金資産	1,460	4,788
退職給付に係る資産	9,467	9,156
その他	13,026	12,432
貸倒引当金	△3,398	△2,295
投資その他の資産合計	128,218	141,487
固定資産合計	326,392	345,388
資産合計	1,447,625	1,439,885

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	855,328	834,925
リース債務	1,565	1,583
未払法人税等	7,961	7,096
賞与引当金	8,028	8,089
役員賞与引当金	439	363
株式給付引当金	-	271
役員株式給付引当金	-	293
独占禁止法関連損失引当金	4,937	4,937
その他	28,727	37,400
流動負債合計	906,989	894,961
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	10,000	10,000
リース債務	3,372	3,962
繰延税金負債	16,542	18,533
再評価に係る繰延税金負債	416	298
株式給付引当金	176	-
役員株式給付引当金	238	-
退職給付に係る負債	7,740	7,314
資産除去債務	1,007	1,079
その他	1,281	1,486
固定負債合計	60,776	62,675
負債合計	967,766	957,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	57,720	31,749
利益剰余金	384,507	399,650
自己株式	△36,412	△21,369
株主資本合計	424,269	428,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,438	53,288
繰延ヘッジ損益	1	△1
土地再評価差額金	△3,375	△3,362
為替換算調整勘定	330	475
退職給付に係る調整累計額	3,936	2,903
その他の包括利益累計額合計	55,330	53,303
非支配株主持分	259	459
純資産合計	479,859	482,247
負債純資産合計	1,447,625	1,439,885

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,858,500	2,961,051
売上原価	2,652,128	2,747,123
売上総利益	206,371	213,927
販売費及び一般管理費	167,910	175,846
営業利益	38,460	38,080
営業外収益		
受取利息	59	144
受取配当金	1,570	1,781
不動産賃貸料	541	512
その他	859	909
営業外収益合計	3,030	3,347
営業外費用		
支払利息	132	279
支払手数料	624	145
不動産賃貸費用	189	215
その他	547	302
営業外費用合計	1,494	942
経常利益	39,997	40,485
特別利益		
固定資産売却益	199	226
投資有価証券売却益	5,663	5,936
補助金収入	-	743
特別利益合計	5,863	6,906
特別損失		
固定資産売却損	101	39
固定資産除却損	179	202
減損損失	408	5,604
固定資産圧縮損	-	743
投資有価証券売却損	-	2
投資有価証券評価損	1,377	154
出資金評価損	-	142
賃貸借契約解約損	-	94
解約違約金	-	1,048
特別損失合計	2,065	8,032
税金等調整前当期純利益	43,795	39,359
法人税、住民税及び事業税	14,009	13,318
法人税等調整額	211	△1,395
法人税等合計	14,221	11,923
当期純利益	29,574	27,436
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	29,558	27,389
非支配株主に帰属する当期純利益	15	46

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,302	△1,149
繰延ヘッジ損益	1	△2
土地再評価差額金	-	△8
為替換算調整勘定	60	145
退職給付に係る調整額	2,040	△1,033
その他の包括利益合計	9,405	△2,048
包括利益	38,979	25,387
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	38,963	25,340
非支配株主に係る包括利益	15	46

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益
当期首残高	18,454	57,720	366,649	△686	442,137	47,135	△0
当期変動額							
剰余金の配当			△12,245		△12,245		
親会社株主に帰属する 当期純利益			29,558		29,558		
自己株式の取得				△35,740	△35,740		
自己株式の処分				14	14		
連結範囲の変動			515		515		
土地再評価差額金の取崩			28		28		
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						7,302	1
当期変動額合計	-	-	17,857	△35,726	△17,868	7,302	1
当期末残高	18,454	57,720	384,507	△36,412	424,269	54,438	1

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△3,346	269	1,895	45,953	244	488,335
当期変動額						
剰余金の配当						△12,245
親会社株主に帰属する 当期純利益						29,558
自己株式の取得						△35,740
自己株式の処分						14
連結範囲の変動						515
土地再評価差額金の取崩						28
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△28	60	2,040	9,376	15	9,391
当期変動額合計	△28	60	2,040	9,376	15	△8,476
当期末残高	△3,375	330	3,936	55,330	259	479,859

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益
当期首残高	18,454	57,720	384,507	△36,412	424,269	54,438	1
当期変動額							
剰余金の配当			△12,550		△12,550		
親会社株主に帰属する 当期純利益			27,389		27,389		
自己株式の取得				△11,003	△11,003		
自己株式の処分		△0		75	75		
自己株式の消却		△25,970		25,970	-		
連結範囲の変動			199		199		
土地再評価差額金の取崩			105		105		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△1,149	△2
当期変動額合計	-	△25,970	15,143	15,043	4,215	△1,149	△2
当期末残高	18,454	31,749	399,650	△21,369	428,484	53,288	△1

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△3,375	330	3,936	55,330	259	479,859
当期変動額						
剰余金の配当						△12,550
親会社株主に帰属する 当期純利益						27,389
自己株式の取得						△11,003
自己株式の処分						75
自己株式の消却						-
連結範囲の変動						199
土地再評価差額金の取崩						105
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	13	145	△1,033	△2,026	199	△1,827
当期変動額合計	13	145	△1,033	△2,026	199	2,388
当期末残高	△3,362	475	2,903	53,303	459	482,247

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	43,795	39,359
減価償却費	13,016	14,424
減損損失	408	5,604
のれん償却額	498	499
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,720	△1,106
賞与引当金の増減額 (△は減少)	398	46
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	47	△78
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,140	△1,543
受取利息及び受取配当金	△1,629	△1,925
支払利息	132	279
固定資産売却損益 (△は益)	△98	△186
固定資産除却損	179	202
固定資産圧縮損	-	743
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,663	△5,934
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,377	154
補助金収入	-	△743
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,164	1,173
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,584	△11,161
未収入金の増減額 (△は増加)	△6,029	1,350
仕入債務の増減額 (△は減少)	74,985	△24,303
その他	1,397	676
小計	97,203	17,530
利息及び配当金の受取額	1,627	1,909
利息の支払額	△132	△278
法人税等の支払額	△12,319	△14,264
補助金の受取額	-	743
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,379	5,639

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,045	△1,451
定期預金の払戻による収入	962	953
有形固定資産の取得による支出	△12,737	△16,508
有形固定資産の売却による収入	941	1,226
無形固定資産の取得による支出	△2,591	△3,620
長期前払費用の取得による支出	△391	△988
投資有価証券の取得による支出	△5,674	△11,863
投資有価証券の売却による収入	6,903	6,594
有価証券の償還による収入	-	500
貸付けによる支出	△934	△466
貸付金の回収による収入	565	723
その他	△215	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,217	△24,917
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	10,000	-
社債の発行による収入	20,000	-
リース債務の返済による支出	△1,727	△1,687
自己株式の取得による支出	△35,740	△11,003
自己株式の売却による収入	14	75
配当金の支払額	△12,245	△12,550
その他	-	1,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,698	△23,534
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	97
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	52,502	△42,714
現金及び現金同等物の期首残高	158,776	212,315
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,036	5,095
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	117
現金及び現金同等物の期末残高	212,315	174,813

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「医療用医薬品等卸売事業」「セルフメディケーション卸売事業」「医薬品等製造事業」「医療関連事業」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「医療用医薬品等卸売事業」は、医療用医薬品、医療用検査試薬、医療機器・材料等の卸販売をしております。

「セルフメディケーション卸売事業」は、一般用医薬品等の卸販売をしております。「医薬品等製造事業」は、医薬品、医療用検査試薬、医薬品原薬、医療機器・用具等の製造販売をしております。「医療関連事業」は、主に調剤薬局の経営をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

「セグメント間の内部売上高又は振替高」は市場実勢価格に基づいております。

「減価償却費」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」には、長期前払費用と同費用に係る償却費が含まれております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(1) 前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額	連結 財務諸表 計上額
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフ メディ ケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	医療 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,521,906	262,344	37,594	36,654	2,858,500	—	2,858,500
セグメント間の 内部売上高又は振替高	18,026	498	15,146	—	33,670	△33,670	—
計	2,539,932	262,843	52,740	36,654	2,892,170	△33,670	2,858,500
セグメント利益又は損失(△)	33,091	2,683	1,894	713	38,382	78	38,460
セグメント資産	1,240,091	93,967	67,368	16,803	1,418,231	29,394	1,447,625
その他の項目							
減価償却費	6,197	364	3,615	350	10,526	2,489	13,016
のれんの償却額	—	—	235	263	498	—	498
特別損失							
減損損失	311	0	—	96	408	—	408
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	22,531	254	2,579	559	25,924	3,860	29,784

(2) 当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額	連結 財務諸表 計上額
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフ メディ ケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	医療 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,621,062	265,275	37,690	37,023	2,961,051	—	2,961,051
セグメント間の 内部売上高又は振替高	18,985	473	16,375	—	35,834	△35,834	—
計	2,640,048	265,748	54,065	37,023	2,996,885	△35,834	2,961,051
セグメント利益又は損失(△)	33,055	2,950	1,294	596	37,897	183	38,080
セグメント資産	1,238,091	93,029	73,007	16,500	1,420,628	19,257	1,439,885
その他の項目							
減価償却費	7,661	346	3,550	376	11,934	2,489	14,424
のれんの償却額	—	—	235	263	499	—	499
特別損失							
減損損失	898	—	4,705	—	5,604	—	5,604
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	14,034	948	3,081	741	18,805	2,650	21,456

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	168	△17
全社費用	△89	200
合計	78	183

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△11,703	△11,631
全社資産	41,098	30,888
合計	29,394	19,257

(単位：百万円)

減価償却費	前連結会計年度	当連結会計年度
全社費用	2,489	2,489
合計	2,489	2,489

(単位：百万円)

有形固定資産及び無形固定資産の増加額	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産	3,860	2,650
合計	3,860	2,650

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,566円50銭	2,650円27銭
1株当たり当期純利益	154円13銭	147円54銭

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注2) 役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております。また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり純資産の算定上控除した当該自己株式は前連結会計年度449千株、当連結会計年度414千株であり、1株当たり当期純利益の算定上控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度245千株、当連結会計年度423千株であります。

(注3) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	479,859	482,247
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	259	459
(うち非支配株主持分(百万円))	(259)	(459)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	479,599	481,788
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	186,868	181,788

(注4) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	29,558	27,389
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	29,558	27,389
期中平均株式数(千株)	191,777	185,637

(重要な後発事象)

該当事項はありません。